

持続可能な地域支援ワーキンググループ

地域の持続可能な成長と第一勧業信用組合の取り組みについて

2019年10月29日(火)

第一勧業信用組合 理事長 新田 信行

当組合の概要

(2019年3月末現在)

名称	第一勧業信用組合(略称 かんしん)
出資金	135億0977万円
所在地	東京都新宿区四谷2-13
純資産	166億円
設立	1965年(昭和40年)5月10日
預金・積金	3,195億円
事業内容	中小企業・小規模事業者ならびに 一般個人のための金融機関
貸出金	2,561億円
営業地区	東京一円・千葉県浦安市、千葉県市川市
組合員数	44,474名
店舗数	26店舗(22支店(本店営業部含む)、4出張所)
役職員数	386名

祭礼行事: 菖蒲まつり、阿波踊り、
さんま祭り、元三島神社祭礼、湯
島天満宮例大祭 など

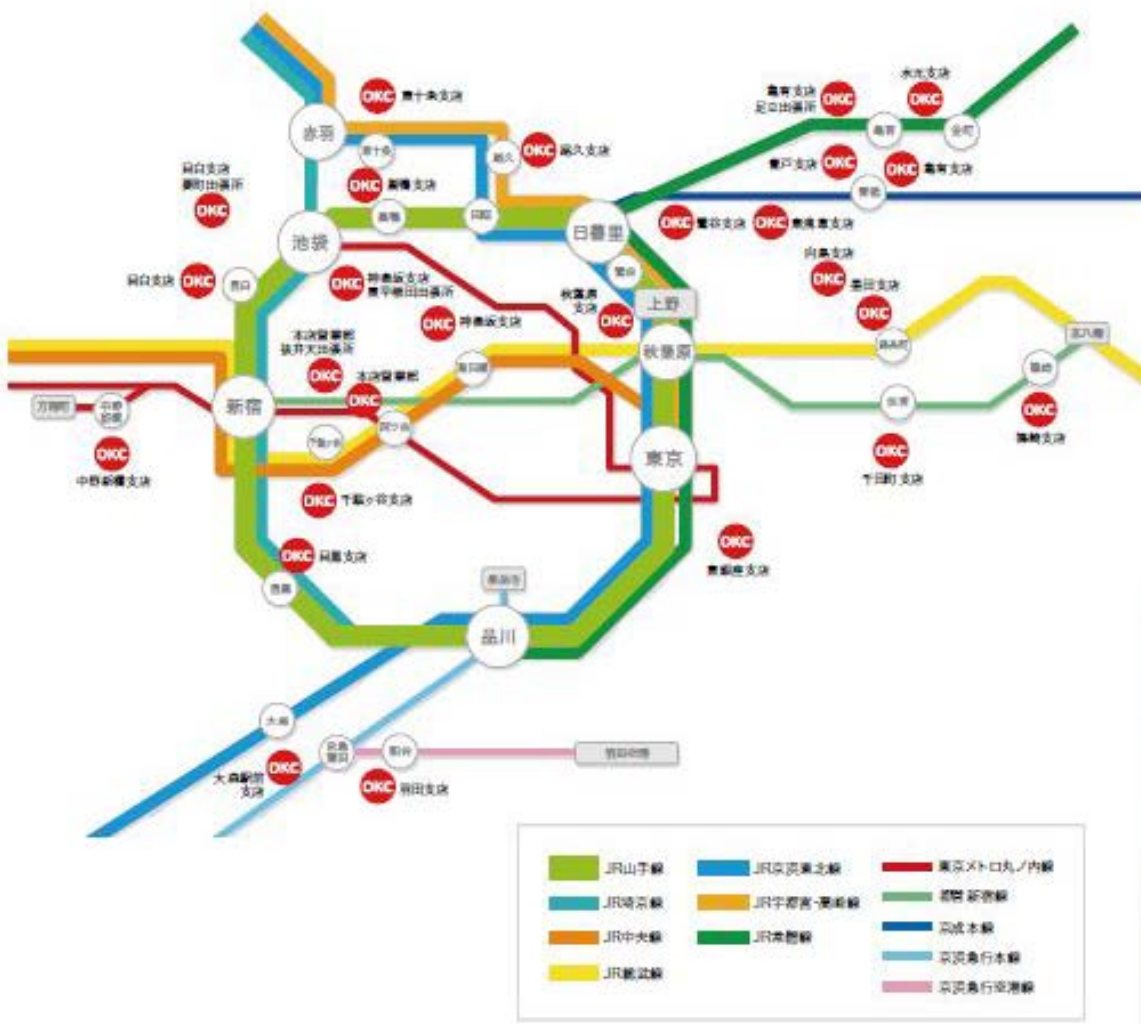
町内会行事など: 商店街感謝祭、
新年会、納涼会、もちつき大会、
町会スポーツ大会 など

イベント	参加件数
祭礼行事	62
町内会行事など	595
計	657

営業店舗一覧 (50音順)

青戸支店	葛飾区青戸 3-40-3	(京成青砥駅入口バス停そば)	TEL03-3602-1171(代)
秋葉原支店	千代田区外神田 3-6-4	(妻恋坂交差点そば)	TEL03-3253-4801(代)
鶯谷支店	台東区根岸 3-13-2	(うぐいす通り沿い)	TEL03-3874-8621(代)
大森駅前支店	品川区南大井 6-27-25	(JR大森駅東口広場前)	TEL03-3766-5321(代)
尾久支店	荒川区西尾久 1-21-15	(小台通り)	TEL03-3893-7205(代)
神楽坂支店	新宿区神楽坂 5-6	(神楽坂通り商店街)	TEL03-3269-3111(代)
神楽坂支店 東早稲田出張所	新宿区早稲田鶴巻町 110	(鶴巻小学校前交差点そば)	TEL03-3232-4021(代)
亀有支店	葛飾区亀有 3-20-8	(亀有駅南口亀有銀座商店街)	TEL03-3602-9161(代)
亀有支店 足立出張所	足立区東和 2-15-3	(東和交番そば)	TEL03-3605-6141(代)
篠崎支店	江戸川区篠崎町 7-21-12	(都営新宿線篠崎駅そば)	TEL03-3678-6991(代)
巣鴨支店	豊島区巣鴨 2-4-2	(JR巣鴨駅北口)	TEL03-3918-0401(代)
墨田支店	墨田区石原 4-24-5	(蔵前橋通り石原四丁目)	TEL03-3624-6241(代)
千駄ヶ谷支店	渋谷区千駄ヶ谷 4-22-2	(千駄ヶ谷大通り商店街)	TEL03-3497-9371(代)
千田町支店	江東区千田 5-9	(四ツ目通り千田バス停そば)	TEL03-3615-6381(代)
中野新橋支店	中野区弥生町 2-20-2	(弥生町二丁目交差点そば)	TEL03-3372-2121(代)
羽田支店	大田区南蒲田 3-3-17	(環八通り能谷駅前交差点そば)	TEL03-3743-5351(代)
東浅草支店	台東区今戸 2-15-4	(今戸バス停前)	TEL03-3876-0241(代)
東銀座支店	中央区銀座 6-14-8	(東京メトロ銀座駅和通り沿い)	TEL03-3543-6921(代)
東十条支店	北区東十条 3-13-10	(東十条商店街通り)	TEL03-3913-7151(代)
本店営業部	新宿区四谷 2-13	(四谷三丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3359-3781(代)
本店営業部 抜弁天出張所	新宿区若松町 16-1	(抜弁天バス停前)	TEL03-6265-9351(代)
水元支店	葛飾区水元 3-22-26	(水元中央通り)	TEL03-3627-5931(代)
向島支店	墨田区向島 3-16-4	(向島二丁目交差点そば)	TEL03-3624-5721(代)
目黒支店	品川区上大崎 3-2-1	(JR目黒駅東口前)	TEL03-3445-0721(代)
目白支店	新宿区下落合 3-12-18	(JR目白駅西側目白通り)	TEL03-3953-4411(代)
目白支店 要町出張所	豊島区要町 2-13-10	(要町通り東京メトロ千川駅そば)	TEL03-3530-7411(代)
本部	新宿区四谷 2-13	(四谷三丁目交差点新宿通り東寄り)	TEL03-3358-0811(代)

都内に充実のネットワーク。お近くの第一勧信まで、お気軽にどうぞ。



地域金融機関のあり方

■ 基本的な考え方

目的 (purpose)	地域の繁栄
価値 (Value)	地域のお客さまと職員の持続的な成長
組織文化 (Culture)	お客さまと職員の幸せ

地方が衰退している



地域金融機関がその目的を果たせていない

地方創生について

☑ 地域金融機関と地方自治体とが緊密に連携することが不可欠

- 地域の経済資源の仲介
人・物・金・情報
- 地域の観光資源の開発
文化・食・自然・気候

☑ 地域の壁を越えた他地域とのネットワークが不可欠 点➤線➤面に

- デジタル化が強い味方に
フェイス to フェイス と ネット のハイブリッド型コミュニティ

当組合の経営理念と基本方針

経営理念

地域とのふれあいを大切にし、皆さまの幸せに貢献いたします。

基本方針

I. 「人とコミュニティの金融」を実践します。

- 地域の皆さま、コミュニティとのふれあいを大切にし、人と人との信頼に基づく金融を実践します。

II. 「育てる金融」で未来を創造します。

若者・女性を応援する組合

- 人や事業、コミュニティを育て、街づくりを応援することにより、日本の地域社会の未来を創造します。

III. 「志の連携」で社会に貢献します。

地方と東京を結ぶ組合

- 開かれた金融機関として、全国の信用組合や様々な志ある方々との連携により、地方創生、地域の発展に貢献します。

かんしん「SDGs宣言」

第一勧業信用組合は、SDGs(持続可能な開発目標)を経営方針の中核とし、具体的な取り組みを通じて地域社会の持続的成長に努めていくことを宣言いたします。

SDGsの目標項目に対する具体的な取り組み

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>■ 貧困をなくそう 新宿ソーシャルネットワークへの加盟、(公財)パブリックリソース財団、(一社)グラミン日本との連携、お客さまの資産形成支援</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>■ 働きがいも経済成長も 育てる金融、コミュニティローン、かんしんビジネスくらぶ、職員の幸せ(幸せのコミュニティ)</p>
<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>■ すべての人に健康と福祉を 働き方改革、ダイバーシティの推進、フレックスタイムの導入</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>■ 産業と技術革新の基盤をつくろう 産学連携による事業創出、創業支援融資、かんしん未来ファンド、地域クラウド交流会</p>
<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>■ 質の高い教育をみんなに 相談員認定制度の導入、各種資格取得の為の支援(研修講座開催等)お客様向け金融セミナーの開催</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>■ 住み続けられるまちづくりを 人とコミュニティの金融、社会的課題の解決(ソーシャルビジネス関連)。地域イベントの参加(年間600件以上)、地方創生</p>
<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>■ ジェンダー平等を実現しよう 管理職への女性参画、ダイバーシティの推進</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>■ パートナーシップで目標を達成しよう 志の連携(全国の信用組合、地域金融機関、地方公共団体、土業、多種多様な企業)、GABV(利益より経済・社会・環境の発展という価値に重きを置く国際的組織)への加盟</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>■ エネルギーをみんなにそしてクリーンに 太陽光発電設備資金の対応</p>	<p>■ SDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標 「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会実現のため、「持続可能な開発目標(SDGs)」が2015年9月の国連サミットにおいて採択されました。2030年を年限とする17の国際目標が定められております。</p>	

創業支援

若者、女性を応援する組合 「世代間の資金循環」

■ 創業支援の取組み

- ✓ 創業支援ファンド
- ✓ 創業支援ローン
- ✓ 日本政策金融公庫とのコラボ
- ✓ 女性・若者・シニア創業サポート制度

■ 推進施策

- ✓ 東京アクセラレーター
- ✓ 地域クラウド交流会
- ✓ 大学との連携

東京アクセラレータープログラム

DKC 第一勧業信用組合

プラン募集期間
2016年5/18～8/29

プレスリリース
Web公開

5月18日 (水)

事前説明交流会
Day1 & Day2

7月6日 (水)
7月21日 (木)

最終選抜審査
ピッチコンテスト

9月21日 (水)

アクセラレータープログラム期間
キックオフ～定期報告会

9月下旬～1月

最終成果報告会
DemoDay

2月17日 (金)

申込ビジネスプラン	113
書類審査	113 ⇒ 24
面談審査	24 ⇒ 14
最終コンテスト	14 ⇒ 9

9社がプログラムに参加



地域クラウド交流会®

- ① 起業家支援イベント
- ② 起業家5名による 3分間事業発表プレゼン
⇒参加者は応援したい起業家に投票(参加費1,000円/含500円分投票権)
- ③ 起業家、行政機関、金融機関、地域の方々の積極的な交流
⇒起業家にやさしい街づくり、事業の下支えができる地域づくり
- ④ 地域内の資金循環
⇒得票数に応じた商品券を贈呈。その地域内で事業に関するコト・モノに利用し、事業を加速させる。

地域の方の参加費1,000円が、起業家応援を通じてその地域に帰る。

当組合のソーシャルビジネス支援態勢

(1) 融資

- プロパー融資商品 「ソーシャルビジネス応援ローン」
- 日本政策金融公庫との協調融資商品
「コラボ ソーシャルサポート」(原則融資比率 5:5)
※ 創業と同様、人重視

(2) 志の連携

- 日本政策金融公庫
新宿ソーシャルビジネス支援ネットワークへの加入
- 公益財団法人パブリックリソース財団
- 株式会社eumo
- プラスソーシャルインベストメント株式会社
- ※ その他にも、複数の志ある団体との連携も計画中

東京ソーシャルビジネス・アクセラレータープログラム

プラン募集期間
2019年5/23～7/5



プレスリリース
Web公開

5月23日 (木)

事前説明交流会
Day1 & Day2

6月11日 (火)
6月20日 (木)

最終選抜審査
ピッチコンテスト

8月29日 (木)



アクセラレータープログラム期間
キックオフ～定期報告会

9月～11月末

最終成果報告会
DemoDay

12月16日 (月)

申込ビジネスプラン	34
面談審査	34 ⇒ 10
最終コンテスト	10 ⇒ 5

5社がプログラムに参加

志の連携 ① (金融機関、行政)

地方と東京を結ぶ組合 「地域間の資金循環」

2019年 9月末 現在

◇ 地産地消 ⇒ 地産都消へ

【連携協定先】

- ✓ 36金融機関
- ✓ 10行政



志の連携 ②

(公的機関、士業団体、大学等、ソーシャルビジネス関係)

公的機関	日本政策金融公庫、中小企業基盤整備機構 関東本部 (独)住宅金融支援機構
士業団体	東京税理士会、東京都行政書士会、日本公認会計士協会東京会、東京3 弁護士会(東京・第一・第二)、(社)東京都中小企業診断士協会
大学	東京理科大学、大正大学、文教大学、近畿大学
大学の子会社	東京理科大学インベストメント・マネジメント株式会社 青山学院ヒューマン・イノベーション・コンサルティング株式会社
ソーシャルビジネス関係	(社)グラミン日本、(公財)パブリックリソース財団、(株)eumo、 プラスソーシャルインベストメント(株)
その他事業会社	オラガ総研(株)、(株)コイニー、(株)CAMPFIRE、(株)ダイヤモンド社、 Readyfor(株)、(株)カウテレビジョン、(株)オマツリジャパン 他

GABV (The Global Alliance for Banking on Values) について



【概要】

- ◆ GABVは2009年に設立され、持続可能な経済・社会・環境の発展に対して融資をするという使命を有する銀行及び協同組織金融機関で構成。
- ◆ 加盟金融機関 55金融機関
(当組合が日本初の加盟/現状、日本では当組合のみ)
- ◆ 規模 顧客数:50百万人、総資産:1,634億USD (約17兆1,885億円)(1\$=110円)
- ◆ GABV議長:ピーターボーム氏 (オランダ トリオドス銀行頭取)

【GABVの6原則】

- ① 持続可能な経済・社会・環境の発展に対する貢献
- ② コミュニティに根ざし実体経済への対応
- ③ 顧客との長期的な関係性を維持
- ④ 長期的な視野に立って、外的な混乱に直面してもオペレーションを維持
- ⑤ 透明性かつ包括的なガバナンス
- ⑥ 上記の原則すべてが金融機関のカルチャー

GABV 6原則

GABV会員のビジネス・モデルと活動はGABVの価値に基づく金融の原則に導かれており、これは価値に基づく金融の基本的な柱を示しています。GABVの原則は、初期段階でGABVに参加するために参加希望銀行の適格性を評価するためにも使用され、GABV会員の発展に重要な役割を果たしています。この原則は、会員たちが共通の方向を向き、価値に基づく金融の取組を舵取りする日常の活動を導く上での指針となる為、会員金融機関にとっても重要な原則です。価値に基づく金融の6つの柱は下記の通りです。

トリプル・ボトム
ライン・アプローチ

実体経済

顧客中心

長期的な回復力

透明性

文化



GABV アジア・パシフィック地区大会の様子

【2019年9月 GABV アジア・パシフィック地区大会がインドで開催】

ネパールのNMB Bank Limited と覚書を締結

覚書の概要(抜粋)

- 日本におけるネパール人の金融ニーズ把握を連携して行う。
- ネパールにおいて金融支援を必要とするネパール人に関する情報をNMBと共有する。
- ネパールにおいて口座開設、送金の円滑化、その他の金融サービス利用を希望するネパール人にNMBを紹介する。



覚書締結は、
GABVメンバーの皆さんから祝福を受け、
「JPBV」は、他国にはない好事例と紹介されました。



JPBV (THE JAPANESE PRACTITIONERS FOR BANKING ON VALUES) について

「価値を大切にする金融実践者の会」(GABVの理念を日本で共有⇒実践)

☑ 代表会員

江上 広行 / 事務局長	新田 信行 / 議長	渋谷 健 / サポーター代表
株式会社URUU 代表取締役	第一勧業信用組合 理事長	フィールドフロー株式会社 代表取締役

☑ メンバーシップ区分

金融機関会員	24先
金融サポート会員	19先

☑ 開催実績

開催日	概要	参加者数
2018年12月11日	キックオフイベント	73名
2019年2月28日	JPBV 第2回定例会	42名
2019年4月26日	JPBV 第3回定例会	61名
2019年5月29日	JPBV設立記念対話イベント 「令和の時代の金融を我々はどのように再定義するか」	72名
2019年7月11日	JPBV主催 持続可能な地域金融フォーラム in 九州	386名
2019年7月25日	JPBV 第4回定例会	63名
2019年9月24日	JPBV 第5回定例会	45名

